

# 議会だより

No.61

令和2年11月10日

テーマ(新しい生活)

無観客でも **ONE TEAM**



栃木県那珂川町

# なかがわ



## 主な内容

- 8月臨時会・9月定例会の結果 (2P～7P)
- ここが聞きたい！ 一般質問(5人) (8P～12P)
- 議会・委員会のうごき (13P～15P)
- キラリ☆まちおこし・編集後記 (16P)

第4回議会  
8月臨時会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として  
妊産婦応援臨時給付金事業や  
観光宿泊クーポン券発行事業など

# 1億6600万円を補正

## 一般会計予算総額 99億7600万円に

令和2年第4回那珂川町議会臨時会が8月6日に開催され、専決処分の承認1件、一般会計補正予算など議案2件が審議され、原案のとおり可決しました。

財産の取得

消防ポンプ自動車の取得

(全員賛成 原案可決)  
消防ポンプ自動車1台

・消防団第3分団第1部(和見)

・取得価格 1846万円

・契約の相手方

栃木県消防整備株式会社

補正予算

令和2年度一般会計補正予算

(賛成多数 原案可決)

国の第2次補正予算の成立を踏まえた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業として、妊産婦に10万円を支給する妊産婦応援臨時給付金事業や、プレミアム率120%の観光宿泊クーポン券発行事業など、補正額1億6600万円を増額し、総額99億7600万円となりました。

・小川運動場改良工事に係る経費

4000万円

・観光宿泊クーポン券発行事業補助金

2010万円

・防災対策に係る経費

1597万円

・学校保健特別対策事業に係る経費 2015万円

・スマート農業推進事業補助金 998万円

・妊産婦応援臨時給付金事業 800万円

など

質問 小川運動場の整備工事の着工の予定は。

答弁 11月頃着手し年度内完了を予定している。

質問 観光宿泊クーポン券の内容と、何件分を見込んでいるか。

答弁 ワンセット5千円で1万1千円分のクーポンが利用できる。販売数は1600セット。

質問 コロナ感染症の影響による農業関係者などへの対応は。

答弁 肉用牛の飼育農家やホンモロコ等の特産品の販売が影響を受けた。インターネット等で販路拡大を図っている。

質問 妊産婦応援臨時給付金の申請基準と周知方法は。

答弁 4月28日から12月31日までに妊娠が確認でき、母子手帳の交付を受けている者。諸条件有り。直接対象者への通知と広報で。

質問 那珂川スクールの内容は。

答弁 中学3年生を対象に入試対策を行う。10月から11月に8回。

賛成：○ 反対：●

第4回臨時会(8月6日)の議案採決の状況

議案の内容	議員名												
		福田浩二	大金清	川俣義雅	益子純恵	小川正典	益子明美	大金市美	川上要一	阿久津武之	小川洋一		
承認第1号	那珂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	令和2年度那珂川町一般会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	財産の取得について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 鈴木繁議長は採決に加わりません。

# 令和元年度 決算 賛成多数で認定

## 一般会計 80億9609万円

前年度 4億1998万円減

令和2年第5回那珂川町議会定例会は、9月2日に開会し、会期を15日までの14日間と定め、一般質問のほか、令和元年度決算の審査、条例改正や令和2年度補正予算の審議などを行いました。一般質問は5人の議員が行い、今期定例会に付議された事件は、24件が上程され、令和元年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、8会計全ての決算を認定しました。

- ・町長提案
  - 報告 2件：財産健全化法に基づく健全化判断比率及び資金不足比率 など
  - 議案 14件：教育委員の任命同意、条例の一部改正、一般会計及び特別会計の補正予算、財産の取得 など
  - 認定 8件：令和元年度各会計決算認定
- ・委員長提案
  - 2件：意見書提出、議員派遣

### 条例改正

#### ◆那珂川町税条例等の一部改正

(全員賛成 原案可決)

地方税法等の改正により、個人住民税におけるひとり親等の控除の見直し、新型コロナウイルス感染症の影響による固定資産税の特例措置、地方税の徴収猶予、軽自動車税環境性能割の臨時的軽減の延長など、所要の改正をしたものです。

### 補正予算

#### ◆令和2年度一般会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業や、町民プール整備事業に伴う解体費用、6次産業の拠点整備として行う農畜産物処理加工施設の移設に伴う費用、道の駅ばとうの駐車場増設に係る調査委託料など、補正額1億6000万円を増額し、総額10億1億3600万円となりました。

・町民プール解体工事に係る経費  
5500万円

- ・農畜産物処理加工施設の移設等に係る経費 3975万円
- ・6月豪雨により被災した農地等の復旧工事に係る経費 1160万円

- ・道の駅ばとうの駐車場増設に係る調査業務等経費 647万円
- ・個人番号カード交付事業に係る経費 646万円
- ・インフルエンザ予防接種の助成に係る経費 558万円
- など



解体予定の町民プール

◆令和2年度国民健康保険

特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

町税還付金に200万円を増額し、総額21億4300万円となりました。

◆令和2年度下水道事業

特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)

下水道管路耐震化工事や管渠修繕工事など、1000万円を増額し、総額3億2300万円となりました。

財産の取得

◆学習用端末の取得

(全員賛成 原案可決)

那珂川町学校ICT環境整備計画に基づき、町内の小中学校5校の児童生徒に対し、一人一台の学習用端末を整備するものです。

小学校学習用端末

取得価格 636台

・契約の相手方

日興通信株式会社宇都宮支店

中学校学習用端末

取得価格 354台

・契約の相手方

日興通信株式会社宇都宮支店



意見書

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め意見書の提出

(全員賛成 原案可決)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されます。

地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくため、地方税・地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すべきであることから、全国町村議会議長会からの依頼に基づき、その趣旨を受けて意見書を提出することを決定しました。

・意見書提出先  
衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣



決算審査

令和元年度決算  
慎重審議で認定

決算審査特別委員会を設置

令和元年度決算の認定審査のため、議員全員で構成する決算審査特別委員会(大金市美委員長)を設置しました。

9月7日から14日まで、一般会計のほか各特別会計、水道事業の8会計について、審査を行いました。

委員会での採決結果

決算審査特別委員会では、一般会計及び国民健康保険特別会計が賛成多数(反対1)、特別会計5会計と水道事業が全員賛成で、認定すべきと採決されました。

最終日15日の本会議に委員長報告があり、本会議においても一般会計及び国民健康保険特別会計が賛成多数(反対1)、特別会計5会計と水道事業が全員賛成で承認されました。

令和2年度一般会計及び特別会計補正予算

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	9,976,000	160,000	10,136,000
国民健康保険特別会計	2,141,000	2,000	2,143,000
下水道事業特別会計	313,000	10,000	323,000

# 決算審査特別委員会からの意見を付記

- 1 移住・定住の促進や交流人口の増加を目指し、各種事業を実施しているが、参加者が少なく成果が見られない事業が一部見られた。総合戦略の一つでもあり、効果的な移住・定住の促進、交流人口の増加につながるよう創意工夫され、事業を展開されたい。
- 2 不用額が前年度に比較して増加している。一部において、事務事業が執行されず、そのまま不用額としているものが見られた。予算編成にあたり綿密な積算を行うなど、適切な予算管理に努められたい。
- 3 小中学校の不登校の児童・生徒が前年度と比較し、増加している状況である。不登校には様々な要因・背景があることを踏まえ、個々の不登校児童・生徒の状況に応じた支援を行うよう、不登校対策を充実していくよう努められたい。
- 4 行財政改革により、職員数が減少した中で、新規採用者より退職者が多い状況にある。多様化する町民ニーズに十分に対応し、行政運営を維持向上していくためにも、適正な職員数に努められたい。
- 5 国民健康保険特別会計の保険者努力支援金については、収納率や特定健康診査の受診率など、交付金に一部算定されていない項目がある。関係各課と連携し、収納率及び特定健康診査の受診率の向上を図るなど、財源確保に努められたい。
- 6 介護保険特別会計の総合相談事業において、各種認知症施策に取り組んでいるが、周知不足とみられる事業が一部見受けられた。各種事業を展開するにあたっては、より一層の周知と事業の充実に努められたい。

## 令和元年度各会計歳入歳出決算の内訳及び認定状況

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	認定結果	
一般会計	8,933,257	8,096,098	837,159	賛成多数	
特別会計	ケーブルテレビ事業	244,314	237,685	6,629	全員賛成
	国民健康保険	2,210,930	2,178,069	32,861	賛成多数
	後期高齢者医療	219,727	211,744	7,983	全員賛成
	介護保険	1,955,035	1,905,635	49,400	全員賛成
	下水道事業	315,975	298,605	17,370	全員賛成
	農業集落排水事業	53,267	50,036	3,231	全員賛成
合計	13,932,505	12,977,872	954,633		

水道事業	収入	支出	収入支出差引額	認定結果
収益的収入及び支出	439,019	341,214	97,805	全員賛成
資本的収入及び支出	142,160	244,165	△ 102,005	

## 町債の残高(借りているお金)

(単位：千円)

会計名	年度末残高	前年度末残高	前年比	
一般会計	8,491,965	8,934,869	△ 442,904	
特別会計	ケーブルテレビ事業	174,000	176,719	△ 2,719
	下水道事業	1,308,013	1,440,226	△ 132,213
	農業集落排水事業	151,531	174,609	△ 23,078
合計	10,125,509	10,726,423	△ 600,914	
水道事業(企業債)	1,287,714	1,268,813	18,901	

## 基金の状況（貯金しているお金）

（単位：千円）

基金の名称		年度末残高	前年度末残高	前年比
一般 会 計	財政調整基金	2,604,484	2,608,521	△ 4,037
	減債基金	808,402	907,932	△ 99,530
	合併振興基金	1,284,808	1,284,308	500
	地域振興基金	1,659,494	1,671,306	△ 11,812
	土地開発基金	200,000	200,000	0
	福祉基金	354,180	367,480	△ 13,300
	高額療養費資金貸付基金	3,000	3,000	0
	森林環境整備基金	11,332	0	11,332
	教育文化基金	72,213	76,003	△ 3,790
	奨学基金	263,656	258,886	4,770
	菊池俊男奨学基金	121,761	127,361	△ 5,600
	一般会計の計		7,383,330	7,504,797
特別 会 計	国民健康保険財政調整基金	46,656	38,016	8,640
	介護給付費準備基金	171,324	127,859	43,465
特別会計の計		217,980	165,875	52,105
合計		7,601,310	7,670,672	△ 69,362

## 水道事業積立金

（単位：千円）

基金の名称	年度末残高	前年度末残高	前年比
減債積立金	36,000	36,000	0
建設改良積立金	228,356	147,018	81,338
水道事業の計	264,356	183,018	81,338

水道事業

報告

### ◆令和元年度那珂川町水道事業

#### 未処分利益剰余金の処分

（全員賛成 原案可決）

水道事業の未処分利益剰余金  
7687万円は、全額建設改良積  
立金に積立することになりました。

### ◆放棄した債権の報告

#### 債権の適正管理で45万円を放棄

債権管理条例に基づき、消滅時  
効などの理由から、令和元年度中  
に26人の債権を放棄しました。  
・水道料金 26人 45万円

### ◆令和元年度健全化判断比率

及び資金不足比率

実質公債費比率7・9%

負債はあっても健全基準内

地方公共団体の財政の健全化に  
関する法律に基づき、令和元年度決算  
に係る財政指標が報告されました。

数値は国の基準値以下となり、健  
全段階であると判断されました。

また、水道事業会計、下水道事業  
特別会計及び農業集落排水事業特別  
会計の上下水道3会計の資金不足比  
率についても、経営健全化基準以下  
であり、健全段階であると判断され  
ました。

実質公債費比率は前年度比0・2  
ポイントの増となりました。

○町民1人当たりの基金(貯金)  
約47万8千円

(平成30年度 約47万円)

○町民1人当たりの町債(借金)  
約63万7千円

(平成30年度 約65万8千円)

※「町民1人当たり」は、水道事業を除いた  
額を、3月31日現在の住民基本台帳人口  
(15,904人)で除した額です。

財政力指数	
令和元年度	0.424
平成30年度	0.415
平成29年度	0.399

※「財政力指数」は、過去3カ年間の平均値。  
「1」に近いほど財政力が強いとされてい  
ます。

健全化判断比率			
指 標	那珂川町	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	7.9%	25.00%	35.00%
実質赤字比率	該当なし	14.57%	20.00%
連結実質赤字比率	該当なし	19.57%	30.00%
将来負担比率	該当なし	350.00%	

※「実質公債費比率」は、18%を超えると地方債の発行に国の許可が  
必要となります。

第5回定例会(9月4日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容			議員名									
			福田 浩二	大金 清	川俣 義雅	益子 純恵	小川 正典	益子 明美	大金 市美	川上 要一	阿久津 武之	小川 洋一
議案第1号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	那珂川町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	那珂川町教育委員会委員の任命同意について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	那珂川町税条例等の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	那珂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	那珂川町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	那珂川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和2年度那珂川町一般会計補正予算(第4号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和2年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和2年度那珂川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和元年度那珂川町水道事業未処分利益剰余金の処分について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※鈴木繁議長は採決に加わりません。

第5回定例会(9月15日)の議案採決の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容			議員名									
			福田 浩二	大金 清	川俣 義雅	益子 純恵	小川 正典	益子 明美	大金 市美	川上 要一	阿久津 武之	小川 洋一
認定第1号	令和元年度那珂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和元年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和元年度那珂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和元年度那珂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和元年度那珂川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和元年度那珂川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和元年度那珂川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和元年度那珂川町水道事業決算の認定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	議員の派遣について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	財産の取得について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	財産の取得について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※鈴木繁議長は採決に加わりません。

# 一般質問！ 大金 清議員

- Q 新型コロナウイルス感染症に伴う各事業の支援策の現状と今後の取り組みについて
- Q 小中学校の情報通信技術（ICT）環境整備事業の取り組みについて
- Q 町民サービス充実のため、行政のデジタル化の取り組みについて

## 国の第2次補正予算の各事業の内容は

（町長）妊産婦へ10万円の給付や予防接種助成拡大など



大金 清議員

給支援はできないか。

**答弁** 町単独事業としては、今のところ考えていない。

**質問** 子育て世帯への臨時特別給付金の支給状況は。

**答弁** 822件、1422万円を支給し、支給率は約98%となった。

**質問** こどものための商品券の使用状況は。

**答弁** 高校3年生までの子供に、1人につき1万円の商品券を配布。8月25日現在、1710人に配付し、1269万8千円使用。

**質問** 休業協力金の支給状況と今後の取組は。

**答弁** 県の協力金該当者には10万円を上乗せ、一定期間休業した事業者には、5万円を町単独で支給。合計で89件、総額825万円を支給した。

**質問** 中小企業等支援交付金の交付状況と今後の取組は。

**答弁** 国の持続化給付金に該当しない町内の中小企業等を支援する

ため、売上げ減少率10%以上50%未満の事業者に対し、法人や団体に最大30万円、個人事業者に最大20万円を交付。8月25日現在、合計で26件、総額600万円を交付した。

### 小中学校のICT環境整備

**質問** パソコンやタブレット端末を使用した遠隔操作の具体的な授業内容は。

**答弁** 遠隔システムを活用した同時双方向型で行うオンライン教育や、家庭において教室で行われる授業に参加することなども可能となる。今後は、教職員の資質向上を図り、遠隔教育が効果的に活用できるよう調査研究する。

**質問** パソコンやタブレット端末の授業を円滑に進めるため、先生方の指導教育にどう取り組むのか。

**答弁** 那珂川町学校ICTプロジェクト実行委員会で、研修会や県の指導主事による講話を行った。今後は、メーカーのサポート研修やGIGAスクールサポーターの

配置、ICT活用アドバイザーの派遣など、国・県による支援事業を活用し進めていく。

**質問** 民間のICT専門家に委託して個別に指導体制が取れないか。

**答弁** 那珂川町学校ICT環境整備プロジェクト実行委員会の中で検討したい。

### 行政のデジタル化

**質問** コンビニで利用できる住民票交付機の計画は。

**答弁** コンビニ交付導入に向け継続的に検討したが、コンビニ交付利用時に必要なマイナンバーカードの交付率が低いことから、現段階での導入は考えていない。

**質問** マイナンバーカードの交付状況と今後の使用取組は。

**答弁** 現在、当町のマイナンバーカードの交付件数は1945件、交付率は11.8%。今後、町独自利用の計画はないが、国では9月から始まるマイナポイントの利用や健康保険証としての利用を予定している。

### 感染症に伴う各事業の取組状況

**質問** 10万円を支給する特別定額給付金の支給状況は。

**答弁** 5996世帯、1万5890人に給付し、給付率99.8%となった。

**質問** 締め切り後に申請等はあったか。

**答弁** 8月末に1件届いたが、申請期限が過ぎたことを連絡した。

**質問** 4月28日以降の新生児に、子育て世帯への臨時給付金や、那珂川こどものための商品券等の支

## 介護施設職員などに積極的にPCR検査を

(町長) 必要性はあるが、現時点で実施する考えはない

### 新型コロナウイルス感染症対策

**質問** 那珂川町で感染者が出た場合、どう保護するのか。

**答弁** 県北健康福祉センターの指導などをもとに、感染者の権利が損なわれることのないように対応する。

**質問** 高齢者が感染すると命にかかわる。介護施設の職員、子ども園、学校の教職員などに積極的にPCR検査を実施すべきでは。

**答弁** 感染者が発生した場合は速やかにPCR検査が行われる



川俣義雅議員

と聞いている。

**質問** 感染者が出てない施設などでも、全職員にPCR検査を実施する自治体があるが、社会的検査の実施は。

**答弁** 必要性はあると思うが、現時点で実施する考えはない。

**質問** 医師会が実施する1日10人までのPCR検査を、もっと増やせないのか。

**答弁** 塩谷広域行政組合が運営主体となつて、1日10人までの検査実施を進めている。県内では1日当たり1300人の検査が可能と聞いている。

**質問** 検査を進めて陽性者をきちんと保護しないと感染が広がる。日本は人口比の検査数が世界で150位くらいと異常に少ない。希望者が検査を受けられるようにしてほしい。

**答弁** 医療機関の診察によつて、感染症が疑われる人が対象になる。

**質問** PCR検査が必要だという人がこの地域で10人以上出ることあり得る。その時はほかの地域に回ることになるのか。

**答弁** この地区では10人以上は無理というのではなく、他に回してもらうこともある。

**質問** 県北健康福祉センターは、県北全体をカバーしており、感染者が急増したらお手上げになる。烏山保健所の機能復活を県に要望してはどうか。

**答弁** 現時点では十分に対応できるのではないか。

### コロナ禍での避難所の在り方

**質問** 昨年は200人を超える町民が避難する事態が発生した。今年はコロナ禍での避難となるが、感染を防ぎながらの避難はどこが違うのか。

**答弁** 3密を避けられるような避難所の開設、運営を行う。分散避難や垂直避難も考えてもらいたい。

**質問** 昨年は馬頭、小川地区とも2か所ずつの避難所開設だったが、避難所を絞る考えは改め

るべきでは。

**答弁** 必要に応じて開設する。

**質問** 3密や感染を防ぐには、体育館はむしろ不適切ではないか。

**答弁** 間隔をとりながら収容することになる。

**質問** 避難所では、人権や健康への配慮が必要では。

**答弁** パーテーションやテントなどで個別スペースを確保するなど、人権や健康に配慮したい。

**質問** 避難所は、体育館以外にどんなところを考えているか。

**答弁** 現在の避難場所は小中学校や公民館など39か所。親戚や知人宅、旅館やホテルの利用も考えられる。

**質問** 旅館やホテルの部屋を家族単位で使わせてもらってはどうか。避難所にさせてもらう話し合いはしているのか。

**答弁** 今後直接伺つて話を進めていきたい。

**質問** 避難所の備品として、寝具や調理器具などの寄付を町民から募る考えは。

**答弁** 管理面や衛生面から、寄付を募る考えはない。

ここが聞きたい

## 一般質問！ 川俣義雅議員

Q 新型コロナウイルス感染症対策について

Q コロナ禍での避難所のあり方について

# 一般質問！ 益子純恵議員

Q 住民票等各種証明書のコンビニ交付とマイナンバーカードの普及について  
Q 「新しい生活様式」を取り入れた先進的な環境学習施設の誘致

誘致による地域振興について

## 地域振興に寄与する環境学習施設の誘致は

(町長) 宿泊機能などを備えた学べる施設という考えに沿い、県と協議していく



益子純恵議員

### コンビニ交付システム導入

**質問** 県内のコンビニ交付システムの導入状況は。

**答弁** 令和2年8月現在、県内25市町のうち21市町が導入済み。当町を含め1市3町が未導入。

**質問** 空いた時間や仕事終わりにコンビニで交付できればという町民の声をどのように考えるか。

**答弁** 住民の利便性を考えると必要と考えるが、導入費用等もあるので今度も検討していく。



**質問** 導入コストや運用コストが抑えられ、交付税措置もされる小規模市町村向けクラウド基盤によるコンビニ交付システムの導入についてどのように考えるか。

**答弁** 導入コストは全額補助対象となるが、低額とはいえランニングコストがかかる。

**質問** 新型コロナウイルスで地方創生臨時交付金の対象である。執行残の積み重ねにより予算化も可能と考えるか。

**答弁** 導入初期経費はそれまかなえるが、ランニングコスト等もあるので、今後検討していく。

### 環境学習施設の誘致

**質問** 来年度見直しの馬頭最終処分場関連地域振興計画の中で、環境学習施設誘致の考えはあるか。

**答弁** 今年度から次期計画の策定作業を開始した。環境学習施設の設置についても、引き続き県に強く要望していく。

**質問** 珍しい野菜の栽培など農業にも取り組んでいる馬頭高校に、環境を学習できる科やコースの設立を要望する考えはあるか。

**答弁** 環境科あるいは森林に関連した学科ができないか要望している。

**質問** 平成24年策定の計画の中で、環境学習施設として、見学体験機能、情報発信機能、調査研究機能、宿泊研修機能を備え、子どもから大人まで楽しく学べる施設とあるが、これについての検討は。

**答弁** 次期計画の策定作業において、環境学習施設の在り方や必要性、施設の機能等について検討する。

**質問** 新型コロナウイルスの影響で、環境学習施設について抜本的な見直しが必要と考えるが、県と協議しているか。

**答弁** 新しい生活様式を取り入れた環境学習施設の機能についても今後検討していく。

**質問** 地域振興と環境学習をどのように結び付けていくのか。

**答弁** 交流人口の増加などコロナ対策も十分考慮し検討していく。

**質問** 那珂川グリーンヒルなどを環境学習施設のベースとすることは、整備のしやすさという面で実現可能ではないか。

**答弁** 具体的な内容は協議していないが、引き続き県や関係機関と検討していく。

**質問** 具体的なビジョンを県に示すことで要望が実現可能となり、環境学習施設の誘致が地域振興に寄与する。この重要性をどう考えるか。

**答弁** ウイズコロナ、ポストコロナの新たな生活様式に合うように物事を進めていく必要がある。可能性をしっかりと探っていく。

# 中山間地域でのスマート農業の推進について

## (産業振興課長) 中山間地域活性化協議会で検討する

### スマート農業の推進

**質問** スマート農業の支援策は。

**答弁** 本年度からスマート農業の推進事業を創設し、農業者の高齢化や後継者不足等に対応するため、スマート農業機械の導入に要する経費として、補助率50%で1申請者300万円を限度とし補助する。

**質問** 公募されたスマート農業機械の詳細は。

**答弁** 自動操舵補助システム付きトラクター2台、同システム付き田植え機4台、ラジコン草刈機1



小川正典議員

台である。

**質問** スマート農業機械の公募に、園芸や花卉栽培用の機械を公募するか。

**答弁** 現在の事業内容には園芸や花卉等の機械は含まれていないが、今後、状況を見据えながら検討する。

**質問** 圃場の狭い中山間地域でのスマート農業について町の考えは。

**答弁** 中山間地域活性化協議会で、中山間地域における農用地等の保全管理や生産活動の向上などを行うことになっている。今後、中山間地域においてスマート農業をどのように推進していくか検討する。

### 農業後継者

**質問** 初期投資が膨大にかかるトマト農家やイチゴ農家などが後継者不足で離農され、地産地消が危

ぶまれている状況にあるが対応策は。

**答弁** トマト・イチゴの施設園芸は栽培技術の習得に時間を要するので、新規就農希望者が離農する農家で研修を受け、研修終了後、そのまま農業施設を引き継げる制度を検討している。

**質問** 将来を担う農業後継者の組織化や新規就農者への助言・指導・栽培技術向上及び生産性向上などに支援する考えは。

**答弁** 人・農地プランに係るアンケート調査において、後継者の目途がついていないと回答した耕作面積の割合は46・9%。農業後継者が組織を立ち上げ、地域の農業を牽引されることを積極的に支援すべきと考える。研修を支援する資金や経営確立をする資金の交付、圃場での栽培技術の助言など引き続き就農支援を行う。

### 県道那須黒羽茂木線の歩道整備

**質問** 国道293号線と那須黒羽茂木線交差点付近(都地区)の歩道が一部未整備の区間がある。児童・生徒の安全確保を図るため早

急に歩道整備をすべきでは。

**答弁** 引き続き、県に対し未整備箇所の早急な整備を依頼する。

**質問** 県道那須黒羽茂木線と町道桜馬場岩下線との新たな交差点において交通事故が発生している。信号機設置の要望、対策を積極的に推進する考えは。

**答弁** 県道管理者や交通管理者と安全確保の協議を行い、注意喚起の看板設置や路面表示を行ってきた。更なる安全対策として、道路照明や信号機設置を関係機関に要望する。

### 移住・定住施策

**質問** 高手の里における今後の施策は。

**答弁** 移住希望者のニーズに合った移住・定住のスタイルを提案していく。

**質問** 新たな分譲宅地の整備など、さらなる移住・定住施策の推進が必要では。

**答弁** 新たな分譲宅地については、子育て支援住宅入居者の退去後の町内への定住促進を視野に入れた整備を検討する。

ここが聞きたい

## 一般質問！ 小川正典議員

- Q スマート農業の推進内容と支援策について
- Q 農業後継者について
- Q 県道那須黒羽茂木線の歩道整備等について
- Q 移住・定住施策について

# 一般質問！ 益子明美議員

Q 子育て世帯への支援策の拡充について

## 産前産後の母親に育児サポート事業等の導入を

(町長) 地域資源の活用も含め関係事業者と協議する



益子明美議員

を導入すべきでは。

**答弁** 産後ドウーラの有資格者が少ないことから、町内や近隣市町にある地域資源の中で何らかの家事・育児に関する支援ができないか、関係する事業者と協議しながら検討していく。

**質問** 那珂川町を定住先にと若い世代に意識づけることのきっかけにも貢献できている子育て支援住宅であるが、第2の子育て支援住宅の計画をすべきでは。

**答弁** 今後事業全体について検討し、その結果を基に、子育て世代の意見を取り入れながら第2の子育て支援住宅の建設も含め調査研究していく。

### 子どもの貧困

**質問** 昨年11月の子どもの貧困対策に関する大綱の策定目的は、子どものことを第一に考えた適切な支援を包括的にかつ早期に講じる

必要があるとし、地方公共団体の取り組みの充実、計画の策定を促している。町は子どもの貧困状況をどのように捉えているか。実態調査をすべきでは。

**答弁** 妊娠期から産前産後サポート事業や乳児家庭全戸訪問事業などで生活困窮家庭の早期発見、早期対策を行っている。実態調査については、こういった形で実施が可能か今後検討していく。

**質問** 子ども子育てに関する包括的な支援の拠点となる子ども家庭総合支援拠点は、いつ頃設置されるのか。

**答弁** 2022年度が国の目標であり、町としても目標年度には設置、可能であれば前倒しでも設置したいと考えている。

**質問** 子ども食堂の開催日数は月1回と少ない状況。回数を増やせるよう町としても様々は支援方を考えるべきではないか。

**答弁** ボランティアグループや支援をしている社会福祉協議会の要望を聞いた上でどのような支援が町として可能か検討したい。

**質問** フードバンクを設立し、食料等の無償提供ができるようにすべきでは。社会福祉協議会が担っている自治体もあるが、当町でも協議すべきではないか。

**答弁** 子育て世帯に限らず、生活困窮家庭全般に対する食料支援を含めた生活支援の在り方について、社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携しながら、フードバンクの設立という選択肢も含め検討する。

### ※産後ドウーラ

産前産後の女性特有のニーズに応え、心身の安定と産後の身体の回復、赤ちゃんの育児や新しい生活へのスムーズな導入を目的に、母親の気持ちに寄り添った、母親のためのサポート。

産後ドウーラ養成講座を受講し、試験・面談に合格した後、訪問研修による現場経験をj経て「産後ドウーラ」の認定を受けることができます。

(一般社団法人ドウーラ協会HPより引用)

**質問** 現在の産後ケア事業の活用事例と課題について伺う。

**答弁** 平成29年度からの実施でのべ14件の利用がある。産後ケア事業後、家庭に戻ることで支援の手が途切れることが課題である。相談体制の整備や専門職の訪問による支援が必要と考える。

**質問** 産前産後の体力的にも身体的にも大変な時期をサポートしてくれる※産後ドウーラの活用または家庭支援等のヘルパー派遣事業

# 議会報告会のお知らせ

昨年度まで、公民館等にお越しいただき、皆さまのご意見ご要望等をお伺いいたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止「3密回避」のため、会場での懇談は行わず、以下の内容のとおり、【ケーブルテレビによる議会活動報告】といたします。

**放送期間** 令和2年11月23日(月)～11月29日(日)

**番組名** なかTVチョイス で放送  
(8:00～、12:00～、16:00～、18:30～、0:30～ の1日5回)

**放送内容** 議会活動報告・各常任委員会活動報告・  
議会広報特別委員会活動報告

※ 議員活動に対するご意見等ございましたら、各議員又は議会事務局宛ご提出ください。  
提出様式は任意です。(提出期限：令和2年12月15日)

※ 番組をご覧いただけない方に、11月30日から12月7日まで、録画したDVDの貸し出しを行います。(貸出は議会事務局までお問い合わせください)



勉強会の様子

## まちづくりに関する勉強会

10月9日、小川総合福祉センターすこやか共生館において、議会主催で、関係団体等にも参加いただき、まちづくりに関する勉強会を開催しました。

講師に帝京大学経済学部地域経済学科准教授、五艘(ごそう)み

どり氏をお招きし、「リモートワークの拡大を意識した移住定住の促進」と題し、お話をいただきました。

リモートワーク拡充を背景に地方への移住に関心が高まっている状況や、リモートワークのメリット・デメリット、リモートワークを移住につなげるポイントなど、実例を挙げながら話されました。

また、移住促進に必要なこととして、「地域魅力の向上と発信」・「多様な移住プランを用意」・「受け入れ環境の整備」など、当町の移住促進に向けたご提言もいただきました。

今後の「まちづくり」について、知識と理解を深める有意義な勉強会となりました。



講師の五艘みどり先生

## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 8月20日

那珂川町地域防災計画（案）について、総務課長から説明を受けました。

また、議会報告会の一環として、関係団体との意見交換会の開催について協議しました。

開催日 9月3日

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、行政サービスを安定的・持続的に提供していくため、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を求める意見書を提出することについて、9月定例会に議会提案するため協議しました。

開催日 9月11日

県道那須黒羽茂木線と町道永畑川崎線の相互移管について建設課長から説明を受けました。

### 教育民生常任委員会

開催日 9月2日

議会報告会の一環として、関係団体との意見交換会の開催について協議しました。

開催日 10月23日

那珂川町社会福祉協議会と、福祉相談事業について、意見交換会を実施しました。

※意見交換会の内容は次号に掲載。

開催日 11月2日

10月23日に実施した社会福祉協議会との意見交換会のまとめを行いました。



団体との意見交換会の様子(10月23日)

## 《特別委員会の経過》

### 議会広報特別委員会

開催日 9月24日、10月23日、

11月2日

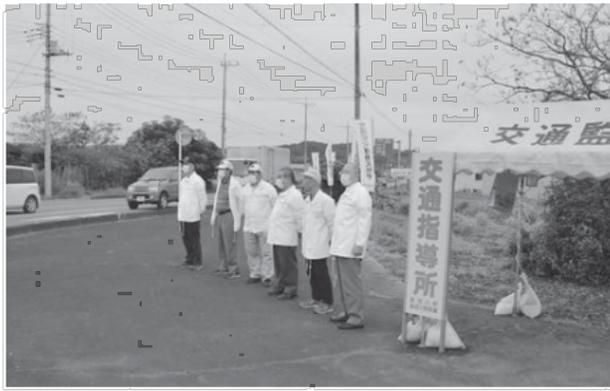
議会広報紙「議会だより なかがわ」第61号（当号）発行のため、編集会議を行いました。

### 町道永畑川崎線の県道移管に関する要望書を提出

9月15日、9月定例会閉会后、町道永畑川崎線の県道那須黒羽茂木線への移管について、町民の不安や不利益とならないよう安全性を確保するため、町長へ要望書を提出しました。



県道に移管される町道永畑川崎線



交通監視の様子

9月21日から30日の秋の交通安全県民総ぐるみ運動で、9月29日の朝夕の2回、旭町交差点で、常任委員会ごとに交通監視に立ちました。

朝7時30分から教育民生常任委員5名が、夕方4時30分から総務産業常任委員6名がそれぞれ立ち、交通安全を呼びかけました。

子どもや高齢者に優しい  
3S運動を  
議員も交通監視に協力

議会のひびき&内容

(Pは記事の掲載場所です)

令和2年 8月	20日	総務産業常任委員会	
	25日	全員協議会	(定例会)
	26日	議会運営委員会	(定例会)
9月	2日~15日	令和2年第5回定例会	(P3~P7)
	2日	教育民生常任委員会	
	3日	総務産業常任委員会	
	7日~14日	決算審査特別委員会	(P4~P6)
	11日	総務産業常任委員会	
	15日	全員協議会	
	24日	議会広報特別委員会	(第4回、第61号編集)
	25日	南那須地区広域行政事務組合議会定例会	
29日	秋の交通安全県民総ぐるみ運動交通監視		
10月	6日	議会運営委員会	
	9日	議員勉強会(講演会)	(P13)
	13日	全員協議会	
	23日	議会広報特別委員会	(第5回、第61号編集)
	23日	教育民生常任委員会	(団体との意見交換会、P14)
	23日	議会運営委員会	
11月	2日	議会広報特別委員会	(第6回、第61号編集)
	2日	教育民生常任委員会	(P14)
	10日	議会だより第61号発行	
	10日	栃木県町村議会議員研修会	(宇都宮市)



## 富山ラベンダー会

寒竹作りリーダー

塚原 加津代さん

(富山)



なかちゃんが聞きました。

- Q ラベンダー会はどんな活動をしているの？
- A ラベンダー栽培やゆずの加工、寒竹箆作りをしているよ。
- Q メンバーは何人いるの？
- A 全員で10人ぐらい。
- Q 「寒竹箆」って何？
- A 寒竹という竹を編んで作る箆のことだよ。「かんちく」や「えびら」とも言うよ。50年も使えるんだよ。
- Q 「かんちく」作りを始めたきっかけは？
- A 10年くらい前に見よう見まねで作ってみたの。
- Q いつ頃作るの？
- A 1月末の寒中なの。「寒



乾燥に最適

- いのによくやるね」って言われるけどね。
- Q どうやって作るの？
- A 「1年もの」の寒竹を一本一本はさみで切って、葉を落として、次の日に作るの。目を置くと固くなるので、そういう時は水につけておくよ。
- Q どこで作っているの？
- A メンバーの家の車庫に集まって作ってるよ。
- Q 一個作るのにどれくらいかかるの？
- A 一個仕上げるのに、慣れた人で四〜五時間かな。
- Q どこで売っているの？
- A 富山の農産物直売所や、道の駅ばどうで販売しているよ。



お揃いのユニフォームで

- Q いくらで売っているの？
- A 大きさや形にもよるけど、3500円くらいかな。
- Q やっていて嬉しい時は？
- A 「これいいね」って買ってもらう時。また作ろうって思うよ。
- Q これからの希望は？
- A 「ラベンダー会」でいろいろ作っているの、みんなが使える加工所があると活動が広がるわ。



かんちく作り、チャレンジしてみたいな。

## 議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。傍聴の際には、マスク着用・手指消毒など、感染防止対策にご協力願います。

次の定例会は、12月2日開会  
(令和2年第6回議会定例会)の予定です。  
議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

### 第4回8月臨時会の議会傍聴者数

6日 4人

### 第5回9月定例会の議会傍聴者数

2日 4人 3日 1人  
4日 1人 15日 0人

### ●表紙写真 スポーツフェスティバル (馬頭中学校)

体育祭の代わりに行われたスポーツフェスティバル。クラス対抗で、長縄やりレーなどが行われた。

無観客で保護者の応援は無かったけど、精一杯頑張りました。

## 編集後記

この夏はナス、きゅうり、トマト、モロヘイヤ、シロウリなどを存分に味わいました。これからは大根、白菜、小松菜、春先にはのらぼう菜など。何といても旬の採りたて野菜が美味で体にいい。

スーパーには年中、いろんな野菜が、海外からも運ばれてきています。

日本では旬でないものも、無いと困りますか？

那珂川町で作れるものは間に合いませんか？

地球のあちこちで、温暖化による「異変」が起きています。大気温度の上昇を抑えないと取り返しがつかなくなると言われています。

船舶や航空機など化石燃料を沢山使ったの流通は極力控えてもらいたいですね。

温暖化防止のためにも、体のためにも、地産地消(できれば自家栽培)で生活できればいいと思います。

那珂川町ならそれに近い事ができるのではないのでしょうか。

真に豊かな生活が。

議会広報特別委員会

副委員長 川俣 義雅

過去の議会だよりはこちらのQRコードで見られます。

那珂川町ホームページ <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

